社会保険労務士からの三方一両得だより

令和８年１１月２０日　第２０６号

種子島に行ってきました

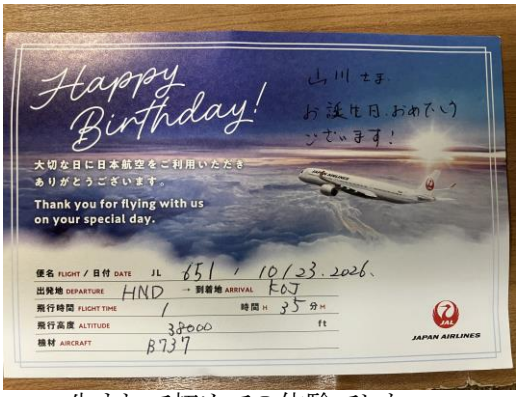
以前から母が行きたがっていた、種子島宇宙センターに一緒に行ってきました。H3 ロケットの打ち上げのニュースがあると、必ず映るあのロケット発射施設です。調べてみると無料の見学バスツアーがあるとのことで、そちらも予約しました。超大型の台風が近づいているとのことで、鹿児島から種子島への飛行機が飛ばないかもとの情報もありましたが、思ったよりも影響は無くてスムーズに日程をこなすことができました。



フレンドリーな職員さんに撮って頂きました。

種子島に行く方には、この見学バスツアーへの参加を強くお勧めします。所要時間 1 時間 15 分ですが、5,000 円請求されても文句ないです。打ち上げなかった H2 ロケットの実物を見たり、大型ロケット発射場の中に連れて行ってもらったり、中央指令室を隣の部屋から覗いたりと盛りだくさんです。ツアーガイドの方が何を聞いても答えてくれるのに感心しました。博識です。

羽田から鹿児島へ飛んだ日は、私の誕生日でした。CA さんに声を掛けられて、「お誕生日おめでとうございます」とバースデーカードをいただきました。しかも、その方のお名前も山川さん。「機内の担当エリアは違うのですが、来ちゃいました。」とおっしゃっていました。山川という苗字、珍しくはないですが、あまりあったことないですもんね。ありがとうございました。



生まれて初めての体験でした。

我が家の畑

最近天候は落ち着いていたものの、仕事がどうにも忙しく、ほとんど畑に行けませんでした。

畑で唯一健在な白菜は元気でしょうか。不織布という薄い布で覆っていたものを、防虫ネットのトンネルに替えましたが、そのタイミングが果たして正解だったのか自信はないです。

さつまいも、しょうが、サトイモを収穫する時間が無く、放置しています。霜が降りるまでにはと思っていましたが、少し遅れてしまったかもしれません。


大根だけは超元気。

社員が必要だと考える福利厚生は？

給与や手当、また賞与など、明確に労働の対価として支給される賃金に対し、条件を満たした時だけに支給される手当や、一時金、または生活のサポートとなる制度などは、ちょっと得した感があり、従業員にとっては嬉しいものです。

厚生労働省では、福利厚生に関する労働者調査を定期的に行っています（独）労働政策研究・研修機構実施。以下に 2026 年の調査結果をご紹介します。



福利厚生制度として「慶弔見舞金制度」を導入する企業が最も多く（42.1％）、「人間ドック受診の補助」（35.2％）、「永年勤続表彰」（32.9％）、「家賃補助や住宅手当の支給」（25.4％）、「食堂」（24.4％）などと続きます。しかしながら、現在の勤務先の制度に「満足」と答えたのは 7.0％、「やや満足」は 20.4％、「どちらともいえない」は 46.6％と、満足度は高くありません。

◆社員が必要だと思う福利厚生制度

「人間ドック受診の補助」（38.8％）が最も多く、「慶弔見舞金制度」（33.8％）、「家賃補助や住宅手当の支給」（32.6％）、「食事手当」（31.8％）、「永年勤続表彰」（30.4％）などと続き、先の「導入されている勤務先の福利厚生」と重なる部分もあります。

一方、「福利厚生を可能な限り抑制し、その分を賃金の原資に充てていきたい／充ててほしいか」という質問に対し、6割超が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しています。

◆人材確保・定着に一定の効果はありそう

現在の勤務先を選ぶ際に、福利厚生の内容を「非常に重視した」「ある程度は重視した」と回答した割合は、約4分の1となっています。

よほど強力に企業がアピールしていなければ、求職者がその福利厚生制度を知る機会もなかなかないものと思われます。

福利厚生の充実は社員のモチベーション向上や人材の確保・定着に一定の効果があると考えられることから、社員のニーズを汲み取った福利厚生制度を導入し、せっかくですから社外にもアピールをしていくとよいのではないでしょうか。

アグリ労務管理事務所　発行責任者　山川　荘二（代表 特定社会保険労務士）
〒321-0923　栃木県宇都宮市下栗町 2916-9　エイムビル 304
TEL 028-616-8814　　FAX 050-3488-2729
E-mail　yamakawa@sr-aguri.com　URL　http://sr-aguri.com